

夏季休暇期間中における 防疫対策の徹底をお願いします！

アフリカ豚熱はヨーロッパおよびアジア地域で発生が拡大しています。口蹄疫はアジアで発生が続き、インドネシアでは5月以降1983年以来となる発生が複数確認されています。

国内ではワクチン接種農場でも豚熱の発生が確認されており、飼養衛生管理の徹底が不可欠となっています。

また6月より海外渡航の規制が緩和されたため、人や物の移動が増加し、病原体の侵入が危惧されますので、防疫対策の見直しをお願いします。

～防疫対策の主なポイント～

1 発生国への渡航自粛の徹底

2 消毒、衛生管理区域への病原体の侵入防止の再徹底

- ・従業員・関係者の皆さんで飼養衛生管理の遵守
- ・関係者以外の立入制限、不要物の持込禁止
- ・専用手袋・靴の着用、手指・物品の消毒
- ・消毒薬は適切な濃度で使用
 - ※消毒槽は最低1日1回交換
- ・消毒後の衣服や機材等が再汚染しないよう、適切な動線確保
- ・野生動物の侵入防止対策
 - ※防護柵、防鳥ネットの設置と点検・修繕
 - ※畜舎の破損等の点検・修繕

3 毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・緊急時の連絡先の確認
- ・アフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱等の特定症状など異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内395) FAX:0573-25-7669